



武内直亮

たけうち・なおあき
株式会社ブレインマークスビジネスコンサルタント

大手C&S（コンビニエンストア）で、
財務改善、経営変革、経営戻度を担当。企
業の「本質的な課題解決」に尽力し、多くの
経験と実績を積んできた。人材育成を
中心とした人事評価制度の構築や理念
を中心とした自主性を生み出す組織つ
くりを得意としている。健康新規と実
績に裏打ちされたコンサルティングス
タイルはフライアントから高い信頼を
獲得している。

10年後のためのアドバイス！

保険業界で比較的遅くから独立し、
保険代理店を立ち上げた森田良作社長。
他業者との差別化や多様性に満ちた
組織づくりなどに取り組みはじめた
のものは早く、素晴らしい保険ビジネ
スを展開しているように見えます。

現在、当社では複数の保険商品を
いかに顧客にわかりやすく提供でき
るか、そしてそれを販売する社員を
いかに磨いていくか、といった点
をサポート中です。「自分の持つ力
を生かす」という当社のコアバリュー
にもとづき、本気で、間違いを恐
れず、時代の変化に対応できる組織
と人材づくりを実践しています。

うですね。

森田 販売マンの場合は毎日、多くの人にはつた。電話をかけたりしてました。その後、しに法人を相手にじっくりと仕事を取り組みたいと考えるようになります。法人はどの程度だったのか、それまで法人を設立しました。

武内 法人化した前と後で変わったことはありますか。

森田 社員を雇うこの難しさを感じました。とにかく効率的なのが「自分のコドー」をつくればいいと思っていましたが、それが間違でした。当然のことなことです。他業にいえば、かつては「自分にはそれが個性がありますし、思うように働いてくれません。しかし、そのことに気がつき、「そもそも人をコントロールする」とかの言葉はありました。

うですね。

森田 販売マンの場合は毎日、多くの人にはつた。電話をかけたりしてました。その後、しに法人を相手にじっくりと仕事を取り組みたいと考えるようになります。法人はどの程度だったのか、それまで法人を設立しました。

武内 法人化した前と後で変わったことはありますか。



皆和社長も同時に、的確に行われている

ない。逆に都合の持ち直を引き出すことが自然だ」と感じられるようになつてましたのです。もうとも、もう思えるようになるまではそれなりの時間が必要でした。今では社員一人ひとりの良さを引き出し、足りない部分を補い合えるような組織つく

りを自指せるようになつてきました。社内には私にない能力を持つている社員が多いので、その総合力を組織の強みにしていきたいと考えています。

武内 営業先には運送業界が多く、海上火災保険（現・三井住友海上火災保険）に代理店業務を学ぶ修業生として入社しました。その後、友人のツテで住友海上火災保険（現・三井住友海上火災保険）に代理店として就職を始めたのです。

いよいよ、

三田工業㈱（現・京セラミタ㈱）に就職して技術分野に携わりました。ところが、入社できただのは良かったものの、どこか自分に合わない感じるようになります。そこで退職することに。その後、友人のツテで住友海上火災保険（現・三井住友海上火災保険）に代理店として就職を始めたのです。

いよいよ、

森田良作
もりた・りょうさく
RMエージェンシー株式会社 代表取締役

1964年生まれ。86年大学卒業。技術機器メーカーに経営者として入社。製品開発に従事したが1年後に退職。独立開業を目指して大手保険会社に研修社員として入社。2年後に独立し、保険代理店を開業。90年に運送会社向け事故防止サービスを開業。93年新規保険代理店を設立して代表取締役に就任。2006年RMエージェンシー㈱に社名変更。



10年後をリードする 未来企業 115

技術職から保険の世界に飛び込み独立運送業界向け事故防止コンサルで加入者急増!!

大阪府で法人顧客を中心に幅広い保険商品やサービスを提供している保険代理店、RMエージェンシー㈱。理系大学を卒業した森田良作氏が20代のときに設立した会社で、現在はとくに運送業界向けの事故防止コンサルティングで人気を集めているという。そんな森田社長の夢と思いに燃ブレインマークスの武内直亮氏がアプローチした。

武内 最初に入った会社ではどんなミスマッチがあったのですか。

森田 会社に閉じこもって研究ばかりしているのが性に合わない感じでした。当初は代理店として色々なミスマッチがあったのです。

武内 事故防止コンサルを通じるために安全講習をやってくれたときに安全講習をやつてくれないか」と頼まれたのがきっかけでした。

森田 会社は代理店として事故防止コンサルをやるためだけに引受けたのですが、その社員と対話を重ねるなかで「保険代理店として事故の後処理をきちんと行うだけではなく、あらかじめ事故を防止する策を講じることで損失やトラブルを回避」、顧客の發に立つことができるのではないか」と考へたのです。

武内 事故防止コンサルティングの内容は事故防止のための組織づくりや仕組みの導入支援となります。おかげで今はほんとすべての会員企業が減少し、喜びの声が寄せられています。最近は口コミなん

森田 を向わず、複数の運送会社で事故防止コンサルや研修を実施して、実際の事例が減少したと喜んでいただいている。

武内 事故防止コンサルを通じて気づいたことがあります。

森田 大切なのは、何よりも「経営者が本気で事故を減らしたいと思ってるか」ということです。これは運送業界だけではなく、あらゆる業種に共通することでもあります。法人が抱えるリスクは個人より複雑な

武内 最終的にはどのような会社にしていただきたいと思つています。

森田 ひと言でいえば「ファン



和やかな部署別の職場風景